２学年通信 No.21

2026（令和８）年　９月 18 日（金）
福山市立新市中央中学校

こんな坂登れるの？

こんな急な坂、登れるのかなあ？ そう思ってテレビの CM を見ていました。

この橋は「江島大橋」といい、島根県と鳥取県の県境にまたがる橋です。車のテレビの CM の題材に使用され、その急勾配から通称「ベタ踏み坂」として一躍有名になりました。最上部は高さ約 45m に達し、コンクリート製の桁橋としては日本最大です。

ちなみにこの写真は以前、現地で撮影したものです。それまで何度か鳥取県の境港まで行ったことがありましたが、その時は、この橋、なんとも思わずに普通に通過していました。この橋は地元の人も普通に通る生活橋で、私が行ったときも自転車で渡っている人がいました。

右の写真は橋のたもとから撮った写真です。少し傾斜がきついなとは思いますが、車で運転していたら、別に「ベタ踏み」でなくとも普通に通過することができます。「ベタ踏み坂」を写真に撮ろうと各地から多くの観光客が押し寄せ、橋のたもとで撮影していますが、皆、首をかしげて「おかしいなあ」とつぶやいていました。

なぜでしょう？

カメラがすきな人はわかると思いますが、これは遠くの場所から撮影した超望遠レンズの圧縮効果なのです。はじめの写真も、橋の対岸の大根島から、約 1000mm の超望遠レンズで撮影したものです。

だから、すぐ近くから写真を撮ってもがっかりする結果となるのです。

実際には、見た目ほどたいした坂ではありません。写真によって、こんなふうに見えるだけ。こんなことってよくあります。

「案ずるより産むがやすし」

「実際にやってみると案外たやすくできてしまう」の意味です。「新しいことが始まる前にはいろいろな心配をするが、実際に行ってみると案外たやすくできてしまうものだ」という意味のことわざです。

あれこれ考えてないで、挑戦してみることも大切です。まず、やってみよう。やってみたら、意外にも自分にもできた、ってことありますよ。 やってみないと、何も始まりませんよ。